

NUTAHARA Rally Team 参戦レポート



【大会概要】

日程：2022年9月9日(金)～9月11日(日)
 主催：AG. メンバーズスポーツクラブ北海道
 場所：北海道十勝地方
 路面：総走行距離686.08 km/SS総距離107.98 km
 SS数 10本/グラベル(95%)一部ターマック(5%)

【LEG1】9月10日(土)

天候/路面：晴れ/ドライ

スタート	6:00
SS1 RIKUBETSU LONG 1	8:02
SS2 YAM WAKKA 1	8:38
SS3 NUPRIPAKE 1	9:59
SS4 RIKUBETSU LONG 2	11:06
サービスA(20min)	11:13
SS5 YAM WAKKA 2	12:31
SS6 RIKUBETSU LONG 3	13:34
SS7 NUPRIPAKE 2	14:26
サービスB(45min)	16:30
パルクフェルメ	

LEG1 Totals 421.60 km

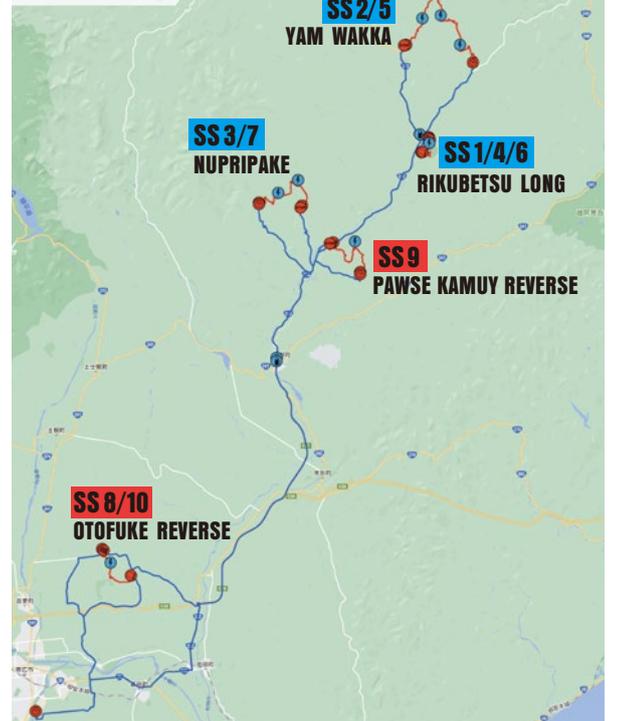
【LEG2】9月11日(日)

天候/路面：晴れ/ドライ

サービスC(15min)	6:00
SS8 OTOFUKE REVERSE 1	7:06
SS9 PAWSE KAMUY REVERSE1	8:34
サービスD(20min)	10:25
SS10 OTOFUKE REVERSE 2	12:03
サービスE(10min)	12:47
フィニッシュ	13:17

LEG2 Totals 264.48 km

ルート全体図



今シーズン2戦目のグラベル(未舗装)であるラリー北海道は、開催20周年+1周年記念イベントとして北愛国サービスパークを拠点にギャラリーステージも設けられ、ラリーショーが駅北多目的広場および平原通りで行われた。有観客開催は3年振りの活気に溢れ、全日晴天に恵まれた。好調なスタートで SS1 ベストタイムを出すも、SS2でメカニカルトラブルが発生しサービスタイム内にマシンを修復、SS3では再びベストタイムを獲得。2位の新井選手と0.1秒差、トップと12.7秒差の3位で初日を折り返す。続く2日目も激しいコンマ秒差の2位争いの中、SS8、SS10のステージでベストタイムを叩き出し、2位表彰を獲得した。

【正式結果】JN-1 クラス 2位/エントリー15台(JN1クラス)/クラス完走13台/全体エントリー51台

Pos	No	Class	Driver	Co-Driver	Leg 1 Sec 1				Sec 2				Leg 1 Total		Leg 2 Sec 3		Sec 4		Leg 2 Total		Overall	
					SS1	SS2	SS3	SS4	TC4D	SS5	SS6	SS7	Total	Pos	SS8	SS9	SS10	Total	ClsPos	Total	Pos	
1	52	JN-1	勝田 範彦	木村 裕介	03:39.2	16:18.6	06:51.3	03:34.4	15:54.0	03:35.5	06:41.5	0:56:34.5	1	04:03.4	05:42.6	04:02.0	0:13:48.0	3	1:10:22.5	1		
2	55	JN-1	坂田原 文雄	東 駿吾	03:34.5	16:29.1	06:50.6	03:34.0	15:58.0	03:32.0	06:49.0	0:56:47.2	3	04:02.5	05:41.8	03:59.2	0:13:43.5	1	1:10:30.7	2		
3	54	JN-1	新井 敏弘	田中 直哉	03:35.6	16:11.4	06:53.8	03:35.8	16:03.3	03:35.0	06:52.2	0:56:47.1	2	04:04.6	05:40.2	03:59.4	0:13:44.2	2	1:10:31.3	3		
4	57	JN-1	鎌田 卓麻	松本 優一	03:36.6	16:28.4	06:53.7	03:36.0	16:05.4	03:35.3	06:55.2	0:57:10.6	4	04:07.4	05:44.8	04:02.0	0:13:54.2	4	1:11:04.8	4		
5	53	JN-1	福永 修	齊田 美早子	03:34.8	16:28.1	07:02.0	03:32.5	16:22.2	03:34.6	07:02.9	0:57:37.1	5	04:06.4	05:50.0	03:59.3	0:13:55.7	5	1:11:32.8	5		
6	60	JN-1	石川 昌平	竹藪 英樹	03:49.1	17:14.9	07:15.4	03:41.4	16:49.3	03:40.7	07:01.9	0:59:32.7	6	04:21.4	06:04.7	04:19.5	0:14:45.6	9	1:14:18.3	6		
7	63	JN-1	徳尾 慶太郎	石田 一輝	03:44.9	17:50.3	07:22.8	03:42.8	17:04.9	03:42.7	07:23.8	1:00:52.2	7	04:35.2	06:10.1	04:23.5	0:15:08.8	11	1:16:01.0	7		
8	62	JN-1	堀田 信	河西 晴雄	03:53.6	17:59.4	07:28.2	03:56.5	23:45.2	03:43.0	07:23.1	1:08:09.0	9	04:22.3	06:05.4	04:26.4	0:14:54.1	10	1:23:03.1	8		
9	51	JN-1	ヘイキ	コバライ 北川 紗衣	03:35.4	16:35.1	07:06.0	03:30.1	38:00.8	03:28.9	06:52.5	1:19:08.8	10	04:12.5	05:48.1	03:59.5	0:14:00.1	6	1:33:08.9	9		

※詳細は「RALLY HOKKAIDO」公式ホームページ <https://www.rally-hokkaido.com/jp/>

NUTAHARA Rally Team 参戦レポート

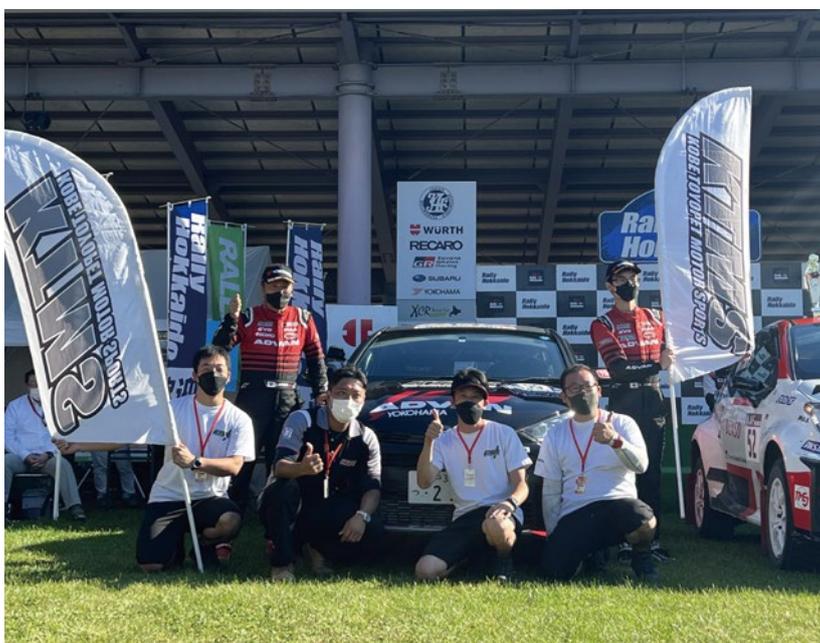


Dr. 奴田原 文雄 コメント

全日本シリーズの中でも一番過酷なグラベルラリーをコンマ秒差の戦いのなか闘うことができました。これもいいクルマをしあげてくれたチーム皆の努力の結果だと感謝しています。またラリー会場や沿道でも多くのラリーファンが声援を送ってくれました。次戦はまたターマックラリーに戻ります。最終戦をいい結果で終われるよう頑張っていきます。

Co.Dr. 東 駿吾 コメント

本戦は天気にも恵まれ、観客の方にもたくさん来ていただき、絶好のラリー日和となりました。その中で、2位でフィニッシュし、今シーズンの中で久々に、表彰台に上ることができ、嬉しく思います。次戦は最終戦となります。優勝でシーズンを締めくくることができるよう、頑張っていきたいと思いますので、今後とも応援よろしくお願いいたします。



【チーム体制】

車名：ADVAN カヤバ KTMS GRヤリス

ドライバー：奴田原 文雄

コドライバー：東 駿吾

メカニック：山田、中沢

KTMS：濱崎、飯島、松尾

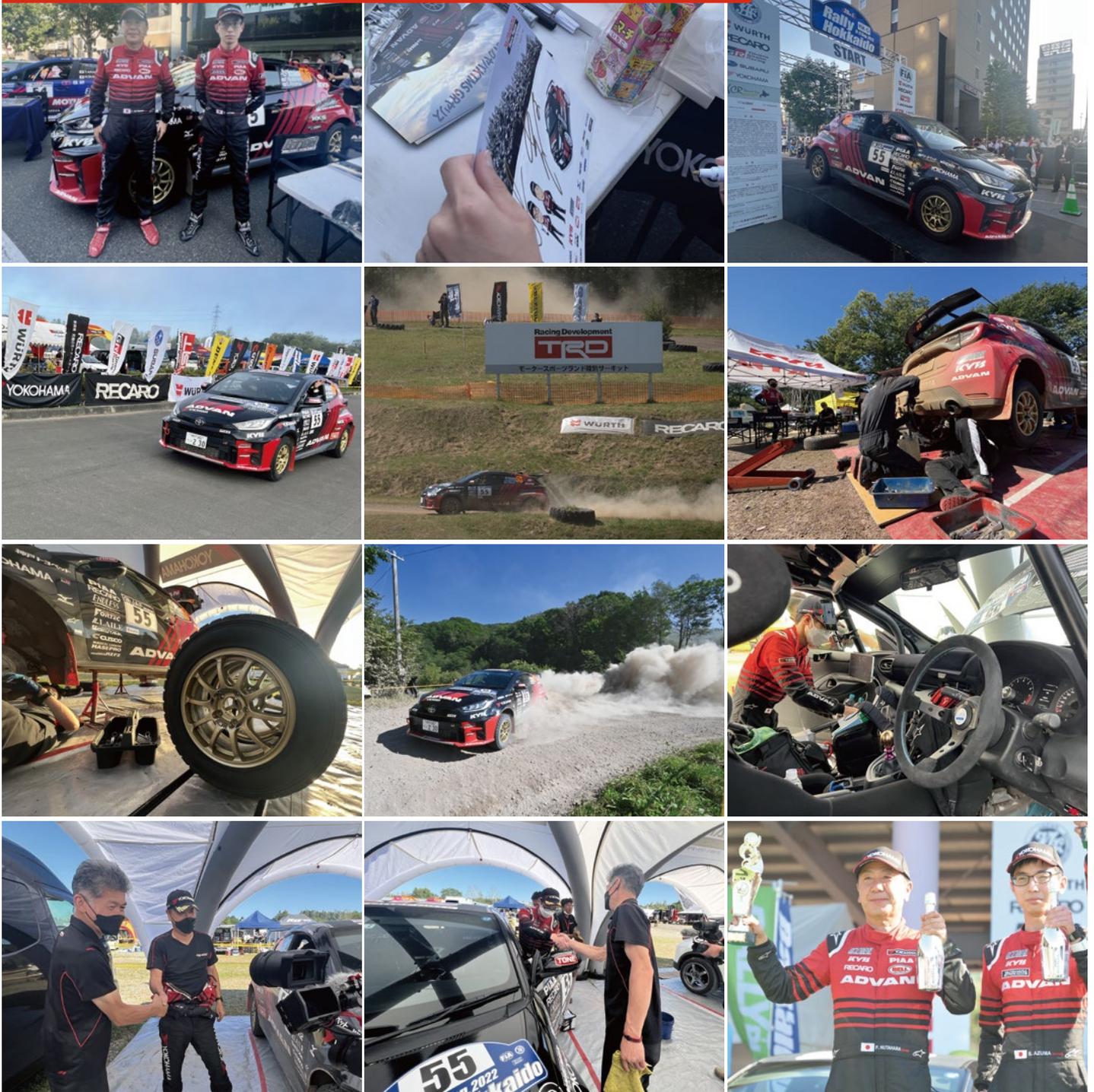
カヤバ：志村、松下

HKS：大竹

マネージャー：田中



NUTAHARA Rally Team 参戦レポート



※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。

Special Thanks

